

令和2年7月31日
奈良地方気象台

大阪管区気象台は、本日（31日）11時に「梅雨の時期に関する近畿地方気象情報第2号」を発表しました。

（見出し）

近畿地方は梅雨明けしたとみられます。

（本文）

近畿地方は、湿った空気の影響で雲の広がっている所がありますが、向こう1週間は、太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

このため、近畿地方は7月31日ごろに梅雨明けしたと見られます。

（参考事項）

1. 近畿地方の梅雨入り、梅雨明けの時期

	梅雨入り	梅雨明け
平年	6月7日ごろ	7月21日ごろ
昨年	6月27日ごろ	7月24日ごろ

2. 梅雨入りを発表した6月10日から7月30日までの降水量の合計

気象官署	奈良	降水量の合計（ミリ）	平年値（ミリ）
アメダス地点	針	766.5	367.4
	田原本	583.5	297.4
	曾爾	614.5	399.0
	葛城	563.0	323.7
	大宇陀	627.5	344.8
	五條	703.0	／／
	吉野	592.0	334.5
	天川	800.5	／／
	上北山	1006.0	606.1
	風屋	1340.5	613.2
	下北山	1241.0	／／
	玉置山	1515.5	725.4



* 降水量の合計は速報値、平年値は1981～2010年の平均値です。
五條及び天川観測所は移設のため、下北山観測所は新設のため平年値はありません。

(注意事項)

- ・ 梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。
- ・ 梅雨の時期に関するお知らせは、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表するものです。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本お知らせで発表した期日が変更となる場合があります。

問合せ先：奈良地方気象台 担当：青木
〈平日〉 電話：0742-22-2556
FAX：0742-22-2543